

(2021/8/21版)

第15回MUレーダー・赤道大気レーダーシンポジウム 第451回生存圏シンポジウム

日時: 2021年9月9日(木) 13:30~17:30

10日(金) 10:00~17:00

場所: オンライン開催。以下のアドレスからZoomへの参加登録をお願いします(2日間共通)

https://kyoto-u-edu.zoom.us/meeting/register/tZUpdOihRTwrE9M1VXpL3Ks7-_uBN7GalGGh

主催: 京都大学生存圏研究所

Web: <http://www.rish.kyoto-u.ac.jp/ear/sympo.html>

プログラム

講演15分 + 質疑5分 (1鈴12分, 2鈴15分, 3鈴20分)

9月9日

(座長: 橋口浩之)

13:30 - 13:40 MUレーダー・赤道大気レーダー共同利用の現状

MUレーダー/赤道大気レーダー共同利用・共同研究拠点専門委員長 山本衛

13:40 - 14:00 航空機監視装置から得られる高頻度気象情報の誤差評価と補正手法の開発

吉原貴之・瀬之口敦・毛塚敦・齋藤享・古賀禎(ENRI)

14:00 - 14:20 航空管制通信利用による海大陸における稠密気象データ取得の試み

森修一(JAMSTEC)・橋本大志(極地研)・虫明一彦(いろはプロジェクト)・Reni Sulistyowati (BPPT, Indonesia)

14:20 - 14:40 MUレーダー外付け受信専用アンテナを用いたアダプティブクラッター抑圧システムの開発

矢吹諒・橋口浩之・寺田一生・山本衛(京大RISH)

14:40 - 15:00 複数のGNSSを活用する電離圏全電子数観測システムの開発とその性能

河上晃治(京大RISH)・齋藤享(電子航法研)・山本衛(京大RISH)

15:00 - 15:20 MUレーダーによる電子密度の長期統計解析と信楽イオノゾンデ自動読み取りシステムの開発

増田秀人・横山竜宏・山本衛(京大RISH)

15:20 - 15:30

=== 休憩 ===

(座長: 横山竜宏)

15:30 - 15:50 インドネシアにおけるプラズマバブルとドリフト速度のGPS観測

大塚雄一(名大ISEE)・Prayitno Abadi (LAPAN)・Kornyanat Hozumi (NICT)

15:50 - 16:10 地上多点ネットワークに基づく超高層大気変動の緯度間結合の観測的研究計画

塩川和夫・大塚雄一・西谷望・能勢正仁・野澤悟徳・大山伸一郎(名大ISEE)・吉川顕正(九大ICSWSE)・藤本晶子(九工大)・横山竜宏・山本衛(京大RISH)

16:10 - 16:30 GEONET ROTIを用いたEs層の構造・特性の解析

齋藤享(電子航法研)・細川敬祐・坂井純・富澤一郎(電通大)

16:30 - 16:50 フィリピン・メトロマニラにおけるプレモンスーン期の強雨出現の特徴

浜田純一(都立大)・久保田尚之(北大)・松本淳(都立大)・佐藤光輝・高橋幸弘(北大)・Glenn Vincent (フィリピンASTI)

16:50 - 17:10 南極昭和基地大型大気レーダーを用いた気象再解析データ中の大気重力波再現性の検証

吉田理人(総研大)・富川喜弘・江尻省(極地研)・高麗正史・佐藤薫(東大理)

17:10 - 17:30 EAR建設構想の初心に還る: 地球の鼓動を聴く

山中 大学(地球研)

9月10日

(座長: Hubert Luce)

- 10:00 - 10:20 SEALION Project Overview: Toward the Development of Plasma Bubble Alert System
Kornyanat Hozumi · Septi Perwitasari · Shinichi Hama · Kenji Nakayama · Michi Nishioka · Takahiro Naoi · Takuya Tsugawa (NICT) · Pornchai Supnithi · Napat Tongkasem · Phimmason Thammavongsy (KMITL, Thailand) · Punyawit Jamjareegulgarn (KMITL PCC, Thailand) · Susumu Saito (ENRI) · Yuchi Otsuka (ISEE, Nagoya Univ.)
- 10:20 - 10:40 Development of an Autonomous Equatorial Spread-F Detection Method for SEALION Plasma Bubble Alert System
Septi Perwitasari · Kornyanat Hozumi (NICT)
- 10:40 - 11:00 New ionospheric 3D tomography analysis with combined GEONET and ionosonde data
Nicholas Ssessanga (RISH, Kyoto Univ.) · Susumu Saito (ENRI) · Mamoru Yamamoto (RISH, Kyoto Univ.)
- 11:00 - 11:20 3-D imaging of daytime mid-latitude sporadic E over Japan with ground-based GNSS data
Weizheng Fu, Nicholas Ssessanga, Tatsuhiro Yokoyama, Mamoru Yamamoto (RISH, Kyoto Univ.)
- 11:20 - 11:40 Wavelet Coherence Analysis of Cumulus Cloud and Local Thermal in the Boundary Layer Using Multiple Instruments
Ginaldi Ari Nugroho (Graduate School of Engineering, Kyoto Univ.) · Kosei Yamaguchi · Eiichi Nakakita (DPRI, Kyoto Univ.) · Masayuki K. Yamamoto · Seiji Kawamura · Hironori Iwai (NICT)
- 11:40 - 12:00 TKE dissipation rate estimated from MU radar, LQ7 wind profiler, UAV and balloon data: statistics and case studies from ShUREX campaigns
Hubert Luce · Hiroyuki Hashiguchi (RISH, Kyoto Univ.) · Laskhmi Kantha · Abhiram Dodd · Dale Lawrence (Univ. of Colorado Boulder, USA) · Masanori Yabuki (RISH, Kyoto Univ.)

12:00 - 13:00 === 昼食 ===

(座長: 西村耕司)

- 13:00 - 13:20 衛星回線における降雨減衰量と雨域移動速度の関係
前川泰之 · 柴垣佳明(大阪電通大)
- 13:20 - 13:40 赤道大気レーダー観測に基づいた西スマトラ山岳域の対流活動と下層風との関係について
柴垣佳明(大阪電気大) · 橋口浩之(京大RISH) · 下舞豊志(島根大) · 山中大学(地球研)
- 13:40 - 14:00 インドネシアにおけるライダーを用いた煙霧観測手法の検討
柴田泰邦 · Isam Ebisawa KUSWAN · 阿保真(都立大)
- 14:00 - 14:20 衛星ビーコン観測によるスポラディックEs層の構造の研究
高橋透 · 斎藤享(電子航法研)
- 14:20 - 14:40 赤道プラズマバブルに繋がりを電離圏の長波長変動の観測
寺田一生 · 山本衛(京大RISH)
- 14:40 - 15:00 観測ロケット搭載用の2周波ビーコン送信機とアンテナの開発
山本衛 · 黒川浩規(京大RISH)

15:00 - 15:10 === 休憩 ===

(座長: 橋口浩之)

- 15:10 - 15:30 スマトラ東部沿岸地域におけるXバンド気象レーダー観測-降雨日周期の統計的分析-
小川まり子(京大東南研)・山中大学(地球研)・Awaluddin・Arief Darmawan・Reni Sulistyowati (BPPT, Indonesia)・Albertus Sulaiman (LIPI, Indonesia)・甲山治(地球研・京大東南研)
- 15:30 - 15:50 高知市における雨滴粒度分布の特徴及びウインドプロファイラとの比較
中陽(高知大院)・村田文絵(高知大理工)
- 15:50 - 16:10 コトタバンにおけるGPM/DPRと地上観測の降水強度比較
丸本将大・下舞豊志(島根大自然科学)
- 16:10 - 16:30 MUレーダーを用いたDDMA-MIMO観測実験
松田知也・越田雅大・橋口浩之(京大RISH)
- 16:30 - 16:50 赤道大気レーダーで観測されたプラズマバブルと150kmエコーの長期統計解析
横山竜宏(京大RISH)・杉野創(京大情報)・高木理絵子・劉鵬・山本衛(京大RISH)

お願い

(1) 発表について

現地参加の場合：講演会場にはHDMI入力のPCプロジェクタを用意します。ご自身でノートPCを接続して下さい。HDMI以外の方は事前に橋口までご連絡下さい。

オンライン参加の場合：プレゼンテーションファイルをZoomで画面共有して発表ください。トラブル時はチャットあるいはメール(hasiguti@rish.kyoto-u.ac.jp)でご連絡下さい。トラブル時には発表の順番を入れ替えることがあります。

他の方の発表の録画やキャプチャーを行わないようにお願いします。

(2) プロシーディングについて

プロシーディングを作成いたします。発表いただいた方々には、下記要領にて原稿を作成・ご送付いただきますよう、宜しくお願い申し上げます。

発表で使われたPowerPointファイルをお送り頂いても結構です。縮小して利用いたします。

用紙： A4縦

ページ数： 2～6ページ

原稿締切： 2021年9月10日(金) (シンポジウム終了時まで)

送付方法： WordまたはPowerPointファイルを電子メールにてお送り下さい

送り先： ear-sympo@rish.kyoto-u.ac.jp (橋口宛)

備考： PDFファイルをホームページに掲載します。著作権の問題等がある図は除いておいて下さい。